

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	次世代完全レア・アースフリー磁石として利用可能な L10 規則相の人工的創製研究開発
研究代表者	<p>牧野 彰宏 (東北大学・金属材料研究所・教授) ※平成 29 年 6 月末現在</p>
研究期間	平成 29 年度～平成 33 年度
コメント	<p>完全レアアースフリー磁石として利用可能な鉄とニッケルの L10 規則相を創製するという点に的を絞った研究目的は独創的であり、応募者は、既に予備実験にて独自の手法によりこの相を得ることに成功している。その後の研究も着実に進歩しており、研究組織も十分なものが構築されている。磁石特性を向上させるためには、当該結晶の規則度と体積分率を増大させなければならず、その方策についての具体的アプローチが本提案の範囲では未だやや不明確であるものの、研究を推進する学術的及び社会的意義は大きい。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>